

I. 2018年度総会および春季研究発表会のご案内

1. 2018 年度総会および春季研究発表会のご案内

日本マス・コミュニケーション学会 2018 年度総会および春季研究発表会を別記の通り開催いたしますので、ご参集のほどお願い申し上げます。

2018 年 5 月 15 日

日本マス・コミュニケーション学会会長 佐藤 卓己

同 企画委員長 大谷奈緒子

同 企画副委員長 鈴木 秀美

同 企画副委員長 渡邊 久哲

2. 2018 年度総会および春季研究発表会プログラム

期 日：2018 年 6 月 23 日（土）～24 日（日）

会 場：学習院大学（〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1）

受付、個人・共同発表、シンポジウム（西 2 号館）、

ワークショップ（西 1 号館）

会員控室（西 2 号館 202 教室）、大会本部（東 2 号館 8 階第 1 会議室）

理事会（西 2 号館 304 教室）

大会事務局（連絡先）：遠藤薫会員（法学部共同研究室）

Tel: 03-5992-0613 Fax: 03-5992-1006

E-mail: kaoru.endo@gakushuin.ac.jp

●研究発表論文集（発表予稿集）のオンライン公開について

個人・共同研究発表の研究発表論文集（予稿集）の公開サイトは、以下の URL です。

<http://mass-ronbun.seesaa.net/>

日本マス・コミュニケーション学会のホームページ <http://www.jmscom.org/> からもリンクが貼られています。2018 年度春季研究発表会の研究発表論文は 5 月 25 日（金）から上記サイトで公開の予定です。

6月23日(土)

9:00 受付開始 (西2号館エントランス)

10:00 開会

<午前の部>

10:00～12:10 個人・共同研究発表

A会場 (西2号館201教室)

司会者：森田均 (長崎県立大学)

10:00～10:30 検索エンジン・ランキングのメディア史

宇田川敦史 (東京大学大学院 院生)

10:30～11:00 新聞はどう読まれているのか

—アイトラッキング法と発話思考法の比較—

北原利行 (電通)

11:00～11:30 トランスナショナルな公共圏の可能性

—画家・富山妙子の越境する作品を事例に—

李美淑 (立教大学)

11:30～12:10 アニメ産業における「デジタル化」の経験

—アニメーターの労働現場に着目して—

○永田大輔 (明星大学)

○松永伸太郎 (一橋大学大学院 院生)

B会場 (西2号館301教室)

司会者：山本昭宏 (神戸市外国語大学)

10:00～10:30 ローカルな歴史とナショナルな歴史

—歴史認識としての特攻—

佐藤信吾 (慶應義塾大学大学院 院生)

10:30～11:00 「過去」と「未来」の交錯過程における対日情緒の「現在」形成

—大韓民国における3・1節と8・15光復節のイベント分析から—

趙相宇 (京都大学大学院 院生)

11:00～11:30 核をめぐるテレビ番組の系譜学と、原発震災のテレビアーカイヴ
松 下 峻 也 (法政大学大学院 院生)

11:30～12:00 昭和戦前期における「二流紙」の日本主義化プロセス
—『大阪時事新報』を例に—
松 尾 理 也 (大阪芸術大学短期大学部)

C 会場 (西 2 号館 302 教室)

司会者：水 島 宏 明 (上智大学)

10:00～10:30 テレビ・ドキュメンタリー前史としての「録音構成」
—『街頭録音』と『社会探訪』の分析を中心に—
丸 山 友 美 (法政大学)

10:30～11:00 テレビ・ドキュメンタリーの描いた海景
—戦争・水域・汚染—
瀬 尾 華 子 (東京大学大学院 院生)

11:00～11:30 水俣ドキュメンタリー再読
—水俣病事件の社会・メディア環境とドキュメンタリー映像表現の深化—
洞ヶ瀬真人 (名古屋大学)

11:30～12:00 基地の街を撮ること
—1960～70年代の横須賀写真を中心に—
塚 田 修 一 (東京都市大学)

D 会場 (西 2 号館 401 教室)

司会者：野 上 元 (筑波大学)

10:00～10:30 英国放送メディアにおける多様性に向けた取り組み
—放送における性的少数者の取り扱い—
山 本 雄 美 (福岡大学大学院 院生)

10:30～11:00 ニュース報道の国際流通に関わる新考察と実証
谷 川 幹 (国際教養大学大学院)

11:00～11:30 メディア環境変容のなかでの「日馬富士」報道の分析
—ニュース報道番組、新聞社オンラインメディア、ソーシャルメディア、
ニュースキュレーションメディアを事例として—
川 瀬 学 (早稲田大学大学院 院生)

E 会場（西 2 号館 402 教室）

司会者：飯 田 豊（立命館大学）

- 10:00～10:30 番組種別の規制と種別の越境
—商業教育専門局・日本教育テレビを事例に—
木下 浩一（京都大学大学院 院生）
- 10:30～11:00 「通信」と「放送」が交錯する初期テレビ受容
—青森県八戸市の事例から—
太田美奈子（早稲田大学大学院 院生）
- 11:00～11:30 マス・コミュニケーションを構成する各過程の単純化論考
—より簡単に使えるリテラシーを広めるために—
前田 益 尚（近畿大学）
- 11:30～12:10 放送話者をめざす学生のキャリア支援の現状と課題
○磯野 正 典（金城学院大学）
○山田 英 寿（北海道文化放送）

<昼の部>

- 12:20～13:30 総会、会長・開催校挨拶（西 2 号館 402 教室）
日本マス・コミュニケーション学会優秀論文賞授与式
- 13:30～14:30 理事会（西 2 号館 304 教室／昼食を用意します）
シンポジウム打ち合わせ（西 2 号館 404 教室／昼食を用意します）
※一般会員の昼食について
学内の食堂（11:00～13:30）、学内の売店（10:00～14:00）、学内のコンビニ、
目白駅周辺の飲食店をご利用ください。

<午後の部>

- 14 : 40～17:30 シンポジウム 1（西 2 号館 401 教室）
世論調査とは何か？
—岐路に立つ世論調査 その信頼性を巡っての議論—
司 会 者：桶 田 敦（テレビユー福島）
問題提起者：細 貝 亮（世論総合研究所）
大隈 慎 吾（毎日新聞）
討 論 者：谷 藤 悦 史（早稲田大学）
松本 正 生（埼玉大学）
佐 藤 寧（日経リサーチ）

17:30～19:30 懇親会（開場 17：15）

会場：学習院大学内 松本楼（中央教育研究棟 12 階）

第 2 日 6 月 24 日(日)

9:00 受付開始（西 2 号館エントランス）

9:00～10:00 シンポジウム 2 打ち合わせ（西 2 号館 404 教室）

<午前の部>

10:00～12:30 シンポジウム 2（西 2 号館 402 教室）

第 48 回衆議院総選挙でメディアは何を伝えたか

—2017 年衆院選予測報道の内容分析から—

司会者：音好宏（上智大学）

問題提起者：小此木潔（上智大学）

小口日出彦（エム・データ、パースペクティブ・メディア）

金平茂紀（ジャーナリスト）

討論者：平野浩（学習院大学）

<午後の部>

昼食について

目白駅周辺の飲食店、コンビニをご利用ください。

12:30～若手セッション会場では、昼食をお取りいただきながらセッションに参加していただけます。昼食は各自でご用意ください。

12:30～13:30 ワークショップ打ち合わせ

（各ワークショップ会場／昼食を用意します）

12:40~14:30 若手セッション (西2号館 402 教室)

変化するメディア環境とマス・コミュニケーション研究の今後
—若手研究者の視点—

司会者：長崎 励朗 (桃山学院大学)

問題提起者：北村 智 (東京経済大学)

国枝 智樹 (上智大学)

討論者：山本 昭宏 (神戸市外国語大学)

大尾 侑子 (日本学術振興会 特別研究員)

(企画：若手ワーキンググループ)

14:40~17:00 ワークショップ

ワークショップ1 (西1号館 102 教室)

戦後期双六にみる日本人のエートス

司会者：新井 克弥 (関東学院大学)

問題提起者：早川 洋行 (名古屋学院大学)

(企画：早川 洋行 会員)

ワークショップ2 (西1号館 103 教室)

内部監査の概念と手法を結合させた新ジャーナリズムの理論と実践の提案

司会者：阿部 圭介 (日本新聞協会)

問題提起者：稲井 英一郎 (東京放送ホールディングス)

(企画：稲井 英一郎 会員)

ワークショップ3 (西1号館 104 教室)

メディアとしてのマンガとジャーナリズム・マスメディア

—ジャーナリズム史とマンガ史の接点を考える—

司会者：石川 徳幸 (日本大学)

問題提起者：茨木 正治 (東京情報大学)

討論者：金山 泰志 (同朋大学)

(企画：茨木 正治 会員)

ワークショップ4 (西1号館105教室)

明治・大正期の新聞紙の整理保存およびデジタルアーカイブの検討
—立命館大学アート・リサーチセンターの事例を参考に—

司会者：竹内幸絵 (同志社大学)

問題提起者：樋口摩彌 (日本学術振興会 特別研究員)

討論者：金子貴昭 (衣笠総合研究機構)

(企画：樋口摩彌 会員)

ワークショップ5 (西1号館106教室)

デジタル・メディアの物質性

司会者：新倉貴仁 (成城大学)

問題提起者：梅田拓也 (東京大学大学院 院生)

篠田ミル (東京大学大学院 院生)

(企画：メディア文化研究部会)

ワークショップ6 (西1号館107教室)

生活者の映像コンテンツ視聴行動の現状とこれから

—テレビ視聴率調査とインターネット動画視聴の実態から—

司会者：川喜田尚 (大正大学)

問題提起者：橋本和彦 (ビデオリサーチ)

討論者：上木則安 (Netflix)

(企画：放送研究部会)

ワークショップ7 (西1号館108教室)

日本と中国の放送番組は日中戦争をどう表象してきたか

—NHKとCCTVの戦争関連ドキュメンタリー番組の展開を題材として—

司会者：米倉律 (日本大学)

問題提起者：長井暁 (聖心女子大学)

(企画：メディア史研究部会)

ワークショップ8 (西1号館109教室)

ブルデュー社会学とメディア研究

司会者：伊藤高史 (同志社大学)

問題提起者：佐幸信介 (日本大学)

(企画：理論研究部会)

ワークショップ9 (西1号館 206 教室)

東アジアの女性ファン文化とネットワーク社会

司会者：大尾侑子 (日本学術振興会 特別研究員)

問題提起者：吉光正絵 (長崎県立大学)

討論者：小川博司 (関西大学)

(企画：ネットワーク社会研究部会)

ワークショップ10 (西1号館 207 教室)

日本経済新聞はなぜ、デジタル化とグローバル化にふみきれたのか?

司会者：音好宏 (上智大学)

問題提起者：下山進 (慶應義塾大学)

(企画：メディア倫理法制研究部会)

3. 会場案内

◎アクセス

【電車でお越しの方】

JR 山手線「目白」駅下車 徒歩 30 秒

東京メトロ副都心線「雑司ヶ谷」駅下車 徒歩 7 分

都電荒川線「学習院下」、「鬼子母神前」駅も利用可



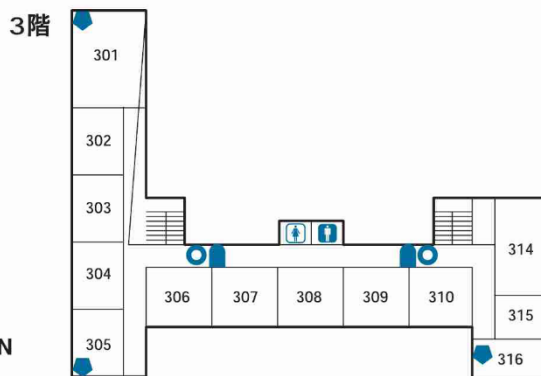
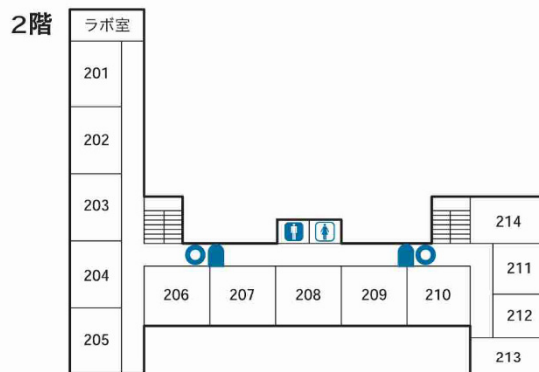
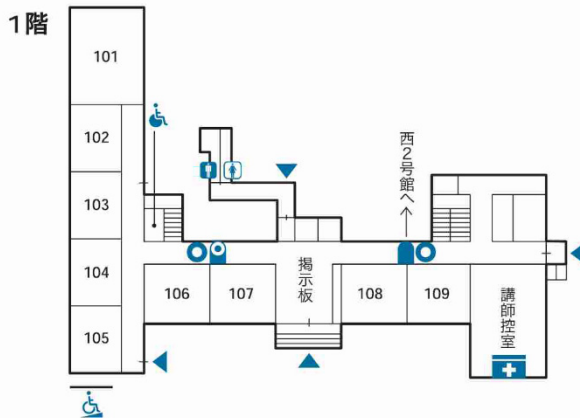
東京	約 2 5 分	JR 山手線	
八王子	約 4 0 分	JR 中央線中央特快線	新宿
町田	約 3 0 分	小田急線快速急行	新宿
横浜	約 3 0 分	東急東横線特急	渋谷
大宮	約 2 5 分	JR 湘南新宿ライン快速	池袋
川越	約 3 5 分	東武東上線急行	池袋
所沢	約 3 5 分	西武池袋線準急	池袋
柏	約 2 5 分	JR 常磐線	日暮里
千葉	約 5 0 分	JR 総武線	秋葉原

空港からの交通アクセス			
羽田空港	約 2 0 分	東京モノレール空港快速	浜松町
成田空港	約 4 0 分	京成スカイライナー	日暮里

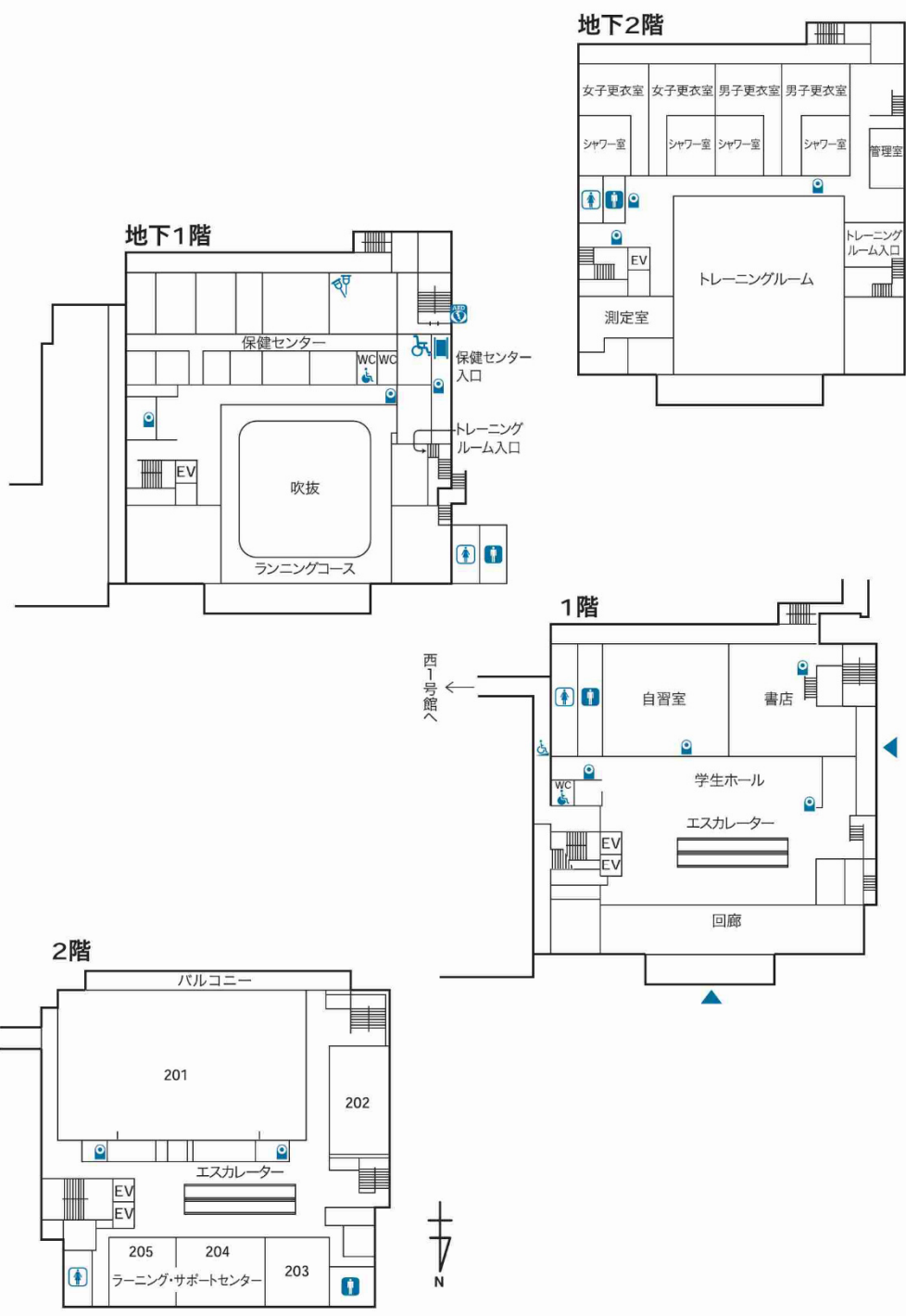
目白
学習院大学

4. 会場配置図

西1号館

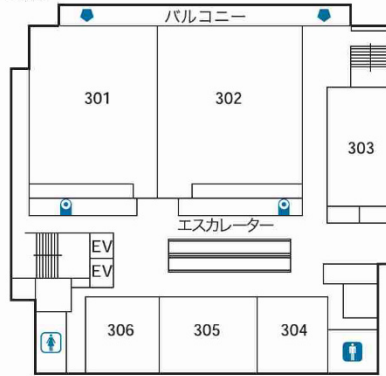


西2号館

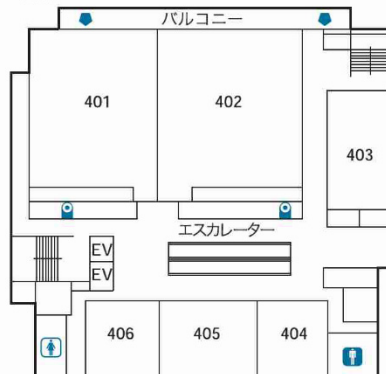


西2号館

3階



4階



5階

